

令和6年度 広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略外部評価会議

(令和6年10月28日開催)

項目	主 な 意 見
デジタル活用について	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 従業員規模が10人未満の企業や個人事業主にもデジタルの活用が進むような施策を検討する必要があるのではないか。</li> <li>○ 製造業からのデジタル技術導入のニーズ及び農林水産業におけるスマート農業への取組支援のニーズを踏まえて、共同研究、受託研究等により適切にソリューションを提供した結果、量的な目標を達成しているが、質的に今後どのように展開していくのか、施策の方向性を整理する必要があるのではないか。</li> </ul>
イノベーション・エコシステムについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひろしまサンドボックス」、「ひろしまユニコーン10」プロジェクト等の事業を通じて、スタートアップ向けのアクセラレーション等を行った結果、イノベーション実現企業率が目標を達成していることを踏まえて、次のステップに向けた施策の方向性を整理する必要があるのではないか。</li> </ul>
リスクリングについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集合学習やオンライン等、学習する人に適した方法を選択することができるようにする必要があるのではないか。</li> <li>○ 時間や場所にとらわれない柔軟な働き方や個々の能力を発揮できる多様な働き方など、広島に来れば通勤時間が短く、少し行けば山も海もあるという強みを生かして、それぞれのライフスタイルに応じた生産性の高い働き方を推進していくことができるのではないか。</li> </ul>
若年層の転出超過	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広島県は3年連続転出超過となっており、その課題に対して、それぞれの施策をつなぎどう展開していくのが重要ではないか。</li> <li>○ 企業誘致やU Iターンも含めて、県外にアピールしながら、施策を推進していく必要があるのではないか。</li> </ul>